

夏号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

- (1) 日時：9月1日(日) とんがりふれあい館ホール
 ①10時～12時 ②14時～16時
 内容：リース作り
 定員：各20名(抽選)
 募集期間：8月9日(金)～8月18日(日)
- (2) 日時：10月5日(土) とんがりふれあい館ホール
 ① 10時～②11時15分～③13時30分～
 内容：苔玉作り
 定員：各10名(抽選)
 募集期間：9月12日(木)～9月21日(土)

*** 窓口、電話、メール、FAX で受付します。**

【みどり講習会】※受講料無料、予約不要

- 場所：とんがりふれあい館ホール
 対象：記念樹交付申請者及び希望者
 日時：令和6年9月29日(日) 10時～12時
 内容：モミジの年間管理
 日時：令和6年10月27日(日) 10時～12時
 内容：冬の手入れ方法
 日時：令和6年11月24日(日)10時～12時
 内容：土壌改良、肥料

* 樹木医による園芸に関する講座です。

今年の梅雨入りは平年に比べると遅く梅雨明けの目安ともいわれているタチアオイが入る前から既に咲き誇っていました。梅雨はないのかと思うような天気が続きました。梅雨入り後は異常ともいえる高温が続き熱中症が心配されるような状態です。植物が植えられているところは、限定的ではありますが気温が低く抑えられます。また木陰は日光を遮り涼みやすいですね。植物の働きは偉大です。右の写真は6月中旬のタチアオイです。



My ガーデニング・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

梅雨の間はこまめに降水があれば心配ありませんが、異常な高温により鉢植えの場合は水が切れると直ぐに萎れてしまいますので注意が必要です。一番問題なのが梅雨明け後です。強い日差しに照らされ庭植えの樹木でも高温乾燥によって弱ってしまうこともあります。記念樹にも指定されているドウダンツツジなどの根が深く伸びていかない樹種は最初に萎れます。7月から9月の3か月予報では高温が続くようです。降水量は平年並みということですが、毎年水やりには悩まされます。この時季は日中にあげるのではなく朝晩の涼しい時間帯にどっぷりとあげるようにします。そしてまた乾燥したらあげるということになります。

【植替え】

落葉樹は11月の落葉後まで待つようにします。常緑樹は9月末になれば可能になります。この暑い時期に根を傷めることは致命傷になる場合が多々あります。

【肥料】

この時期の施肥は根を傷める心配があるので一般的にはあげません。9月末頃まで待ったほうが無難です。草花などでも液体肥料を規定の2倍ほどに薄めて使用します。肥料成分は水に溶けて根から吸収されるのですが、大量に植物の体内に入ってしまうと、それが原因で細胞が壊れ枯れてしまったり、異常に肥大成長して病害虫に対する抵抗力も落ちてしまいます。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。一般家庭ではスプレータイプの薬剤散布がお勧めですね。

この時季は病害虫が多く発生します。日頃からよく観察しておきます。幹を縄などで結んでいただけてもそこから蛾の幼虫が侵入している時があります。

・うどん粉病 梅雨明け後から10月にかけて多く発生します。発生前から定期的に違う種類の薬剤を散布することが大切です。バラ、ハナミズキ、モミジ、サルスベリなどに多く見られます。

・ごま色斑点病 ベニカナメの葉の表面に斑点が現れ一本が罹患すると次々とうつり枯れてしまいます。防除が難しい病気です。

・アブラムシ、カイガラムシ 夏に開花するサルスベリの大敵です。その後にはすす病が発生し葉が黒くなってしまい落葉し衰弱してしまいます。

・カミキリムシ この時季のカエデ類の一番の大敵です。枝をかじり弱らせ枯死することもあります。成虫を見つけ次第、捕殺します。写真はゴマダラカミキリです。



【剪定】

以前は月遅れのお盆に合わせて庭木を綺麗に剪定することが、この地域では多く行われていました。しかし昨今の高温乾燥の天候ではかえって樹木を弱らせてしまうことが多々あります。植物は暑い夏を葉を茂らせて乗り切り、秋以降はその葉で光合成をしてエネルギーを蓄え寒い冬を乗り切ります。ですからこの時季の剪定は伸びた新梢や懐の弱った枝を整理するくらいの弱い剪定にとどめるべきです。強い剪定はその樹木の適期に行います。

夏の彩り



上の写真はムクゲ（別名 ハチス）です。中国原産とされています。多くの品種が存在し夏を彩る花木です。この公園内にも多く植栽されています。挿し木で簡単に増やすことができます。



強い香りのあるヤマユリです。以前は里山でも多く見られましたが荒廃によって少なくなってきました。

現在、近くで多く見られるのがタカサゴユリです。外来種で道路の法面などでも繁殖して在来種との競合が心配されています。

【この時期のハナカツミ】



今は直射日光を避けて半日陰に置いておきます。高温や極端な乾燥には弱いので水やりを忘れないようにします。3,000倍ほどに薄めた液体肥料を月二回ほどあげます。春に綺麗な薄紫の花を見るためには夏越しが大切になります。